



島高だより
令和8年6月号
(通巻第243号)
長崎県立島原高等学校
編集：教育企画部

校長室から

「文武両道の系譜」

校長 久保田 幸成

本年度の高校総体が終了し、本校生徒の健闘と成長を改めて実感しております。私自身も各会場を回る中で、勝利の喜びに沸く瞬間、悔しさに涙する姿、そして仲間同士で励まし合う温かな光景に数多く触れてまいりました。その一つひとつが、生徒たちの真剣な取り組みと、これまで積み重ねてきた努力の証であり、深い感動を覚えました。

特に印象的であったのは、競技の結果だけではなく、互いを支え合いながら最後まで戦い抜く姿でした。選手だけでなく、応援に回る生徒やマネージャーそして保護者の方が、選手を励まし続ける姿に、「チーム島高」としての一体感を強く感じました。また、勝敗にかかわらず、自分の限界に挑もうとする姿、最後まであきらめずに挑戦し続ける姿は、まさに本校が大切にしてきた精神そのものであったと思います。

着任してまだ二か月余りではありますが、校長としてこのような生徒たちの姿に出会えたことを大変誇りに感じております。そして、このような経験の積み重ねの中で、生徒は学校への誇りや愛着、いわゆる「愛校心」が自然と育まれていくのだと実感いたしました。

さて、本校の校是である「文武両道」についてお話しします。「校是」とは、その学校が長い年月の中で大切にしてきた理念であり、学校の根幹となる考え方です。日々の生活の指針となる「校訓」とは違い、もっと大きな、学校の土台にある価値観と言えるでしょう。この言葉が校是となったのはどうやら昭和60年くらいなのでしょう。

島原高校は1900年創立の島原中学校を前身としていますが、その源流はさらに古く、1793年に設けられた「稽古館」にまでさかのぼります。そこでは文学や史学とともに、身体を鍛える兵学も重んじられ、学びと心身の鍛錬の両立、すなわち「文武両道」の精神がすでにこの地に息づいていたようです(創立100周年記念誌より)。この約230年にわたる長い歴史の中で育まれてきた「文武両道」の精神は、現在の島原高校にも確かに受け継がれています。

今回の高校総体で見られた生徒たちの姿は、まさにこの「文武両道」を体現するものでした。日々の学業と部活動の両立に努めながら、仲間とともに努力を重ね、競技の場で全力を尽くす姿は、本校が目指してきた理想の姿そのものです。その成果は、個人の力だけでなく、支え合う仲間や応援を含めた「チーム」の力、そしてこの地に根ざした伝統の結晶であるといえるでしょう。各部活動の努力と健闘に、心から敬意を表します。

一方で、競技の世界では、努力が必ずしも結果に結びつくとは限りません。思い描いた結果に届かなかった生徒もいることでしょう。しかし、「報われない努力はあっても、無駄な努力はない」という言葉のとおり、これまでの取り組みは必ず自らの力となり、これからの人生を支える大切な礎となります。

保護者の皆様におかれましては、日々の支えや励ましを通して、生徒たちの挑戦を後押ししていただきましたことに、心より御礼申し上げます。

生徒たちには、この経験に誇りを持ち、それぞれの新たな目標に向かって胸を張って進んでほしいと願っています。今後とも本校教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

文理探究科課題研究発表大会

5月25日(火)、大村市のメモリード・シーハットおおむらにおいて「長崎県文理探究科探究発表大会」が実施されました。この大会は長崎県内にある5つの文理探究科設置校から、それぞれ選抜された代表班が出場する大会で、研究のレベルが非常に高く、理数探究大会はさらに上位の「中国・四国・九州大会」につながるものになります。本校からは3月の「島高探究発表大会」を経て選抜された班が、理数探究の部・国際探究の部にそれぞれ2班ずつ「口頭発表(ステージ)」に出場しました。どの班も3月の段階から追加調査や発表資料の改善を進めており、見違えるほどの出来に仕上がっておりました。結果は僅差で最優秀賞を逃しましたが、4班とも優秀賞を獲得しました。どの班も最優秀賞を狙っていただけに悔しい結果となりましたが、その思いは後輩たちへとつながったことと思います。理数探究の部に出場した2班は、8月に行われる「中国・四国・九州大会」のポスター発表の部の出場権を獲得しました。さらに研究を進めてより良いものにしてほしいと思います。



3 学年進路講演会

6月12日(金)、『いよいよ勝負の年～覚悟を決め、執念・挑戦～』の演題で元長崎西高校校長の田川先生をお迎えし、3年生向けの進路講演会を実施しました。日々の学習や受験を戦略的に考えて行動することの重要性や、これからの受験生の取組と変化などについてお話ししていただきました。高総体を終え、これから多くの生徒が本格的に受験に挑むことになります。『物事の成否は「能力」の差よりも「執念」の差だ』という田川先生の鬼気迫る言葉は生徒全員の心に響いたようです。

地区別学校説明会

6月15日(月)～18日(木)で、地区別学校説明会を実施しました。多くの中学生・保護者の皆さんが参加して下さいました。ありがとうございました。

オープンスクール開催!

7月30日(木)9:00～第1回島原高校オープンスクールを開催します。

今年度も、体験授業、座談会、部活動体験など盛りだくさんの内容になっています。

是非お友達と一緒にご参加ください。保護者の皆様、学校の先生方の参加もお待ちしております。

7月の主な行事予定

- | | | | |
|--------|-----------------|--------------|----------------|
| 4日(土) | 進研実力テスト(1・2年) | 18日(土) | 長崎大学オープンキャンパス |
| 6日(月) | 進研記述模試(3年)(~5日) | 21日(火) | 小学生実験教室 |
| | 全国高等学校野球選手権 | 22日(水) | 有家川実習(文理探究科1年) |
| | 長崎大会 開会式 | 24日(金) | 1年文理探究科絵科大学研修 |
| | 保護者修学旅行説明会 | 25日(土) | 土曜講座(3年) |
| 10日(金) | 競技大会 | 27日(月) | 2年文理探究科熊本研修 |
| 11日(土) | 土曜講座(3年) | | (~29日) |
| 13日(月) | 三者面談 ~17日 | 30日(木) | オープンスクール |
| 17日(金) | 1学期終了式 | ★校内学習会(1-2年) | …7/22~24 |
| | | ★夏季補習(3年) | …7/22~24 |
| | | ★校内学習会(3年) | …7/28~8/6 |



R8年度第78回長崎県高等学校総合体育大会

島原高校 結果報告

—入賞&インターハイ・九州大会出場の部活動—

剣道男子	【団体】	優勝	〈IH・九州大会進出〉
	【個人】	三木己徹 優勝	〈IH・九州大会進出〉
		寺川叶真 3位	〈九州大会進出〉
		長尾悠真 3位	〈九州大会進出〉
剣道女子	【団体】	準優勝	〈九州大会進出〉
	【個人】	大賀幸愛 優勝	〈IH・九州大会進出〉
		北山愛華 準優勝	〈IH・九州大会進出〉
		勝又美璃風 3位	〈九州大会進出〉
弓道男子	【団体】	3位	
	【個人】	塩田岳 優勝	〈IH・九州大会進出〉
弓道女子	【団体】	優勝	〈IH・九州大会進出〉
	【個人】	神崎美希 3位	〈九州大会進出〉
陸上競技		林田真陽 男子 100m	3位 〈北九州大会進出〉
		男子 200m	4位 〈北九州大会進出〉
		丸山小晴 女子 400m	8位

レスリング	【団体】	優勝	〈IH・九州大会進出〉
	【個人】	小川光 51 kg級 優勝	〈九州大会進出〉
		濱崎康太郎 55 kg級 優勝	〈IH・九州大会進出〉
		太田一希 60 kg級 準優勝	〈九州大会進出〉
		綿谷湊斗 65 kg級 優勝	〈IH・九州大会進出〉
		林田龍之介 65 kg級 準優勝	〈九州大会進出〉
ソフトテニス男子	【団体】	ベスト8	
	【個人】	溝田・永橋 8位	〈九州大会進出〉
ソフトテニス女子	【団体】	ベスト8	
硬式テニス男子	【団体】	3位	
	【個人】	古賀・吉川 ベスト8	
ポスター		志岐彩花 最優秀賞	〈県高総体ポスター採用〉

今年度も、島高生は頑張りました。優勝旗を3本持ち帰り、IH出場、九州大会出場の種目も多数あります。多くの部活動が2年生を中心とした新チームになり、次の目標に向かって頑張っています！